

四国時報に歯が立たず! 狂った思考で狂った目論み!

〒768-0011

焦る迷走老人・ゴロ付川上道大の世迷い言

観音寺市出作町 603-3

読者の皆さんお楽しみのごろ付新聞「四国タイムズ」 社主・

電話 0875-25-6883

川上道大への原告発行「四国時報」による悪人退治! 3月21日

編集発行人 木下俊明

日の公判開廷前の待合室で、顔を合わすのが体裁悪いのか被告代理人の生田暉雄弁護士は、ベンツの車内に閉じこもったままだった。思うに前回公判での裁判長の発言を被告川上が四国タイムズ3月号に記事化していたことが理由かと推察した。被告川上は、原告の友人の一人を名指して、強面(暴力団風)と四国タイムズ4月号に書いておるが、それなら、この小悪人・川上道大と名コンビの被告代理人の風体、身形の方がよっぽど強面に見える(笑)ところで、弁護士に依頼するまでもなく原告の訴えの要点は認められた。今回の公判で裁判長は、①企業舎弟②建築費の踏み倒し③ネズミ講、この3要件を主に裁判長が要約してくれた(ア)~(ク)四国タイムズの記事が真実であることの立証を行うよう被告川上へ申し渡された。これらの各記事を立証できる筈は無く、只、虚偽陳述を強弁する以外に手立てが無いのが可哀想だ。小悪人・川上道大如き害虫一匹を退治するのに弁護士など全く必要無い。女性裁判官ながら、さすがに法律を司る立場で原告の訴えを理解斟酌下さる公平な扱いに敬意を表したい。もっとも被告川上等は、他での敗訴の例のように嘘をつくことなど意にもかきせず、悪口、妄言と言いたい放題の常習者達だ。ところで、3月19日に被告川上が以前、情報収集の為に会った人物から被告川上に話した時の詳細を聴く機会があった。いずれの人も原告とは旧知の人達であり、被告川上へ話した内容に大袈裟な付け加え文言を記した四国タイムズのコピーを全部見せると、一様に「これは酷いし、キツイ」と驚いていました。四国タイムズの情報提供者へもちゃんと記事を送ってあげなさい。この情報提供者達の為にも、又、彼奴は必死に今も誰彼の見境無く形振りかまわず電話をかけまくって、原告の情報収集に狂奔しているとのことだが、客観的な証拠となるような確たる情報の収集が不可能であることと、「企業舎弟」だとの裏付けが取れないことを肌で感じているようで、原告の表現の仕方に変化が見られる。その一つが新語「共生者」とか「広義解釈で・・・」「狭義解釈で・・・」である。裁判所の指示への答弁の下準備ともとれる表現だ。さらに、被告川上の厚かましい一面だが、己が平成23年12月号で因縁を付けた相手(企業舎弟見習い)に憶面も無く情報を求め、原告と被告双方の知人達へも「何か木下のネタになることはないか」と焦りに焦っているそうです。簡単に潰せるとの目論みに反して、強烈な反撃逆襲を喰らい「こんな筈やなかった(泣)」と臍を嚙んでいる様が鮮明に浮かんでくる。被告川上は、ある人にこう云ったとか「木下とトコトンやる」と・・・上等ですよ道大ちゃん! トンコ節「トコトンのヤットコトン」恥を曝すのは道大ちゃんだよ(笑)ここまで狂うと北朝鮮のような無茶苦茶な挑発で玉砕覚悟の行為であるならそれも良し。原告・四国時報にとっては益々知名度の向上になり、多くの人々が彼奴の21年にも渡る悪行に泣かされた恨みを晴らしてくれる四国時報に絶大なご声援と評価されるだけです。 裏面へ

四国タイムズ5月号には「ネズミ講の相方」「行政に乗り込むときの相方」「広告の押し付けには・・・」「不法投棄などに搦めて恐喝する・・・」とかまたまた妄言を羅列する稚拙で悪辣な記事を掲載している。被告川上の毎号の苦心作に馬鹿らしいが、あえて付き合い反論してあげよう。21年間もゴロ付新聞といえども、マスメディアを自称する割には「ネズミ講」や「企業舎弟」とは何かを知らんのかね？コンビニの生田弁護士に尋ねなさい。ネズミ講の相方と名指ししておる人物の名刺にメーカーのマークを原告のマークと早とちりして恥をかいたのを忘れたのかい？又、強面の代理人を雇うお前さんに強面云々と言う資格は無い！広告を押し付ける云々の記事だが、四国タイムズというゴロ付新聞を悪用する輩はいても、自分の大切な会社やお店の広告を依頼する者はいないだろう。お陰様で四国時報への声援の意味を含めて、少しずつながら広告主が増えているのは、四国時報の存在と価値の表れであって、お前さんが決め付ける広告の押し付けがあるというなら証明してごらん！はいはい！号外読みながらカリカリしとる場合やないでネタ切れタイムズの道大ちゃん！ガス欠するまで取材してこんかいな！見出しに香川新聞の横内氏と結託とあり、産廃不法投棄をネタに広義で恐喝と明記しているこの記事には、きっちり責任持ってもらいますよ！！横内氏とは顔見知りであることは事実だが、結託や共同行為する必要も事実も無い！四国時報17号(3月号)紙面に横内氏の対産廃物運動の意見や実情を紹介したのであって、それをさも原告が横内氏と連携して四国時報を発行しているかのように邪推し、六代目山口組倭和会の威光を後ろ盾に暗躍していると断じる悪質ぶりには、賢明な読者の失笑と蟹蹙を買っている。四国時報号外の文章や主張に被告川上が「文章がしっかりしており、誰かが書いているのでは・・・」と洩らしていたと聴きスタッフとともに笑ってしまった。これ位の文章表現力は中高生でも書きますよ道大ちゃん。四国タイムズは東京でライター雇っていると聴いたが、己の無能さを基準にして判断してもろたら困るがな。道大ちゃん如き虫けら一匹への号外作成など、ほんの30分もかからない。四国時報など簡単に潰せると舐めてかかって大火傷したね。「爪伸ばしすぎると剥がされる」とはよく言ったものである。さてジャーナリストの田原総一郎氏が3月27日に神戸市の山口組総本部で直系組長80人と討論会を開く予定だったが、体調不良を理由に中止となった。今後のテレビ出演にも影響するとあって各方面から圧力がかかったとも・・・そこで川上よ！毎号四国タイムズで週刊誌からの顔写真入りで、山口組を云々と非難しているが、そこで提案だ。既に解決済みの自分が襲われた昔の襲撃事件を掘り返し、ある人には「使用者責任で必ず法廷に立たせてみせる」と大口を叩いているそうだが、そこまで・・・そこまで口にし、文句があるなら四国タイムズが、田原氏に代わって直接取材してはどうかね？その気があって行動を起こせばの話だが、まず小心者のお前さんには所詮無理な仕事か？毎号の四国タイムズを読んでいて誰もが思う率直な感想であろう。またこれも毎回表紙で前知事と現知事を執拗に攻撃しておるが、頓珍漢で支離滅裂で自己陶醉者の川上の記事ともなれば辟易するばかりだ。以前にも書いたが、木下潰しを依頼したルートから入手したいいつもの顔写真。少なくとも4年以上も前の写真だ(笑)最新の顔を掲載して欲しいので撮影に来て下さい。今号の最後に、これは認めよう。道大ちゃんに2つほど負けている！①ゴロ付新聞だが、21年も発行していること。②被告川上は前科持ちだが、原告には前科が無いこと。

四国時報の猛反撃に四国タイムズ戦意喪失

〒768-0011

焦る妄想老人・ゴロ付川上道大の世迷い言

観音寺市出作町 603-3

読者の皆さんお楽しみのごろ付新聞「四国タイムズ」 社主・

電話 0875-25-6883

川上道大への原告発行「四国時報」による悪人退治! 3月21日

編集発行人 木下俊明

日の公判開廷前の待合室で、顔を合わすのが体裁悪いのか被告代理人の生田暉雄弁護士は、ベンツの車内に閉じこもったままだった。思うに前回公判での裁判長の発言を被告川上が四国タイムズ3月号に記事化していたことが理由かと推察した。被告川上は、原告の友人の一人を名指して、強面(暴力団風)と四国タイムズ4月号に書いておるが、それなら、この小悪人・川上道大と名コンビの被告代理人の風体、身形の方がよっぽど強面に見える(笑)ところで、弁護士に依頼するまでもなく原告の訴えの要点は認められた。今回の公判で裁判長は、①企業舎弟②建築費の踏み倒し③ネズミ講、この3要件を主に裁判長が要約してくれた(ア)~(ク)四国タイムズの記事が真実であることの立証を行うよう被告川上へ申し渡された。これらの各記事を立証できる筈は無く、只、虚偽陳述を強弁する以外に手立てが無いのが可哀想だ。小悪人・川上道大如き害虫一匹を退治するのに弁護士など全く必要無い。女性裁判官ながら、さすがに法律を司る立場で原告の訴えを理解斟酌下さる公平な扱いに敬意を表したい。もっとも被告川上等は、他での敗訴の例のように嘘をつくことなど意にもかきせず、悪口、妄言と言いたい放題の常習者達だ。ところで3月19日に被告川上が以前、情報収集の為に会った人物から被告川上に話した時の詳細を聴く機会があった。いずれの人も原告とは旧知の人達であり、被告川上へ話した内容に大袈裟な付け加え文言を記した四国タイムズのコピーを全部見せると、一様に「これは酷いし、キツイ」と驚いていました。四国タイムズの情報提供者へもちゃんと記事を送ってあげなさい。この情報提供者達の為にも、又、彼奴は必死に今も誰彼の見境無く形振りかまわず電話をかけまくって、原告の情報収集に狂奔しているとのことだが、客観的な証拠となるような確たる情報の収集が不可能であることと、「企業舎弟」だとの裏付けが未だ取れないことを肌で感じているようで、原告の表現の仕方に変化が見られる。その一つが新語「共生者」とか「広義解釈で…」「狭義解釈で…」である。裁判所の指示への答弁の下準備ともとれる表現だ。さらに、被告川上の厚かましい一面だが、己が平成23年12月号で因縁を付けた相手(企業舎弟見習い)に憶面も無く情報を求め、原告と被告双方の知人達へも「何か木下のネタはないやろか…」と焦りに焦っているそうです。簡単に潰せるとの目論みに反して、強烈な反撃逆襲を喰らい「こんな筈やなかった(泣)」と臍を嚙んでいる様が鮮明に浮かんでくる。被告川上は、ある人にこう云ったとか「木下とトコトンやる」と…上等ですよ道大ちゃん! トンコ節「トコトンのヤットコトン」恥を曝すのは道大ちゃんだよ(笑)ここまで狂うと北朝鮮のような無茶苦茶な挑発で玉砕覚悟の行為であるならそれも良し。原告・四国時報にとっては益々知名度の向上になり、多くの人々が彼奴の21年にも渡る悪行に泣かされた恨みを晴らしてくれる四国時報に絶大なご声援と評価されるだけです。 **裏面へ**

四国タイムズ5月号には「ネズミ講の相方」「行政に乗り込むときの相方」「広告の押し付けには・・・」「不法投棄などに搦めて恐喝する・・・」とかまたまた妄言を羅列する稚拙で悪辣な記事を掲載している。被告川上の毎号の苦心作に馬鹿らしいが、あえて付き合い反論してあげよう。21年間もゴロ付新聞といえども、マスメディアを自称する割には「ネズミ講」や「企業舎弟」とは何かを知らんのかね？コンビニの生田弁護士に尋ねなさい。ネズミ講の相方と名指ししておる人物の名刺にメーカーのマークを原告のマークと早とちりして恥をかいたのを忘れたのかい？又、強面の代理人を雇うお前さんに強面云々と言う資格は無い！広告を押し付ける云々の記事だが、四国タイムズというゴロ付新聞を悪用する輩はいても、自分の大切な会社やお店の広告を依頼する者はいないだろう。お陰様で四国時報への声援の意味を含めて、少しずつながら広告主が増えているのは、四国時報の存在と価値の表れであって、お前さんが決め付ける広告の押し付けがあるというなら証明せんかいな！四国時報創刊時から誰が絵描いて面白おかしく道大ちゃんに情報を入れているかくらい察しがつくがな(笑)まあいずれ登場していただくがね！見出しに香川新聞の横内氏と結託とあり、産廃不法投棄をネタに広義で恐喝と明記しているこの記事には、きっちり責任持ってもらいますよ!!横内氏とは顔見知りであることは事実だが、結託や共同行為する必要も事実も無い！四国時報17号(3月号)紙面に横内氏の対産廃物運動の意見や実情を紹介したのであって、それをさも原告が横内氏と連携して四国時報を発行しているかのように邪推し、六代目山口組倭和会の威光を後ろ盾に暗躍していると断じる悪質ぶりには、賢明な読者の失笑と蟹蹙を買っている。こじ付けるのは道大ちゃんの得意技だが、無茶苦茶すぎて読者も理解できないそうだ。四国時報号外の文章や主張に被告川上が「文章がしっかりしており、誰かが書いているのでは・・・」と洩らしていたと聴きスタッフとともに笑ってしまった。これ位の文章表現力は中高生でも書きますよ道大ちゃん。四国タイムズは東京でライター雇っていると聴いたが、己の無能さを基準にして判断してもらったら困るがな。道大ちゃん如き虫けら一匹への号外作成など、ほんの30分もかからない。四国時報など簡単に潰せると舐めてかかって大火傷したね。「爪伸ばしすぎたら剥がされる」とはよく言ったものである。さて、ジャーナリストの田原総一郎氏が3月27日に神戸の山口組総本部で直系組長80人と公開討論会を開く予定だったが、体調不良を理由に中止となった。今後のテレビ出演にも影響するとあって各方面から圧力がかったとも・・・そこでだ！毎号四国タイムズで週刊誌から顔写真や記事をそのままパクリ、山口組云々と非難しているが、そこで提案だ。すでに解決済みの自分が襲われた大昔の襲撃事件を掘り返し、ある人には組長相手に「必ず使用者責任で法廷に立たせる」と大口を叩いているそうだが、減らず口が過ぎる。もうそこまで口にし、文句があるというなら四国タイムズが、田原氏に代わって直接取材しては如何かな？そこまで大口叩くなら行動を起こせる筈だが、まあ小心者のお前さんには所詮無理な仕事で、また「重大な役割を担っている」等とこじ付けるのが精一杯だろう。またこれも毎回表紙で前知事と現知事を執拗に攻撃しておるが、頓珍漢で支離滅裂で自己陶醉者の川上の記事ともなれば辟易するばかりだ。以前にも書いたが、木下潰しを依頼したルートから入手したいつもの顔写真。もう4年以上も前の古い写真だ(笑) どうせなら最新の顔を次号に掲載して欲しいので撮影に来て下さい。